

平成 22 年 7 月 16 日

投資家の皆様へ

三菱UFJ投信株式会社

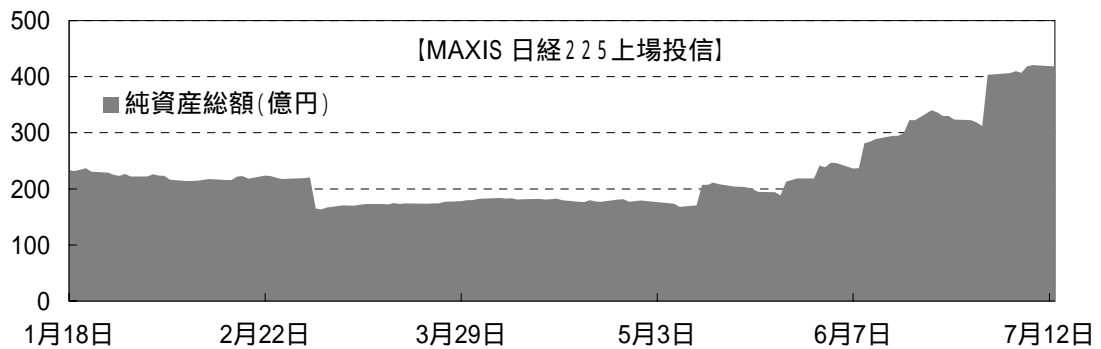
## 弊社ETFに係る分配金のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本日決算を迎えました弊社 ETF につきまして、分配金が以下の通り確定致しましたのでご報告申し上げます。

ファンド名	決算頻度	基準価額 (分配金落後)	分配金
MAXIS トピックス・コア30上場投信 (銘柄コード:1344)	年 1 回 (毎年 7 月 16 日)	45,492 円	1,260 円
MAXIS 日経225上場投信 (銘柄コード:1346)	年 2 回 (毎年 1・7 月の 16 日)	9,473 円	31 円
MAXIS トピックス上場投信 (銘柄コード:1348)	年 2 回 (毎年 1・7 月の 16 日)	84,048 円	690 円
MAXIS S & P三菱系企業群上場投信 (銘柄コード:1670)	年 2 回 (毎年 1・7 月の 16 日)	9,374 円	54 円

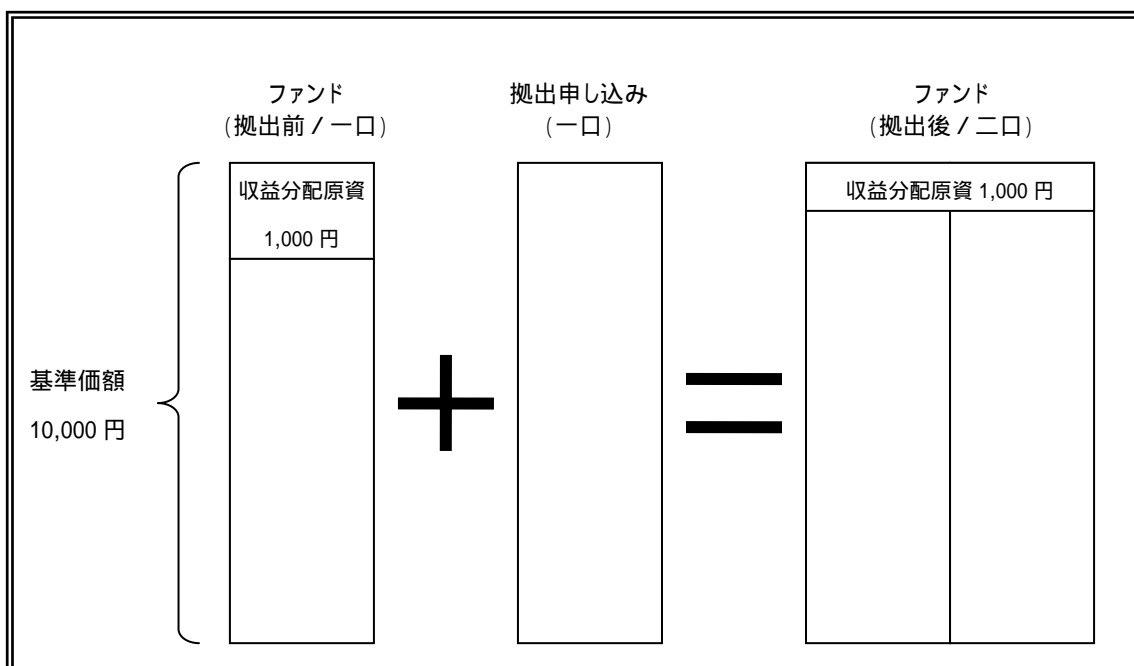
日経225上場投信につきましては、決算日に向けた大口の拋出申込みを受け(以下グラフご参照のこと)、他のETFに比べて希薄化の影響が大きくなっております。



(ご参考:ETF における分配金の希薄化について)

通常、ETF はポートフォリオ構成銘柄の配当金等を収益分配原資として日々蓄積をし、決算日に分配金として払い出しを行います。従って、蓄積が進展する決算日に近づくほど拠出申し込みに伴う希薄化の影響が大きくなります(ただし、受益権一口あたりに帰属すべき価値に増減が発生する訳ではございません)。

【希薄化(イメージ図)】



純資産総額が 10,000 円(基準価額:10,000 円、総口数:一口)の ETF が存在し、純資産のうち 1,000 円を収益分配原資として蓄積しているものと仮定します。

このファンドが株式による一口分の拠出を受け付けたものとします。

拠出後、ETF の純資産総額は 20,000 円(基準価額:10,000 円、総口数:二口)になりますが、拠出申し込み分には収益分配原資の蓄積が無いため、既存の収益分配原資 1,000 円を総口数二口にて分け合うことになり、一口当たりの分配原資は 500 円と希薄化します。しかし、純資産総額(及び受益権一口あたりに帰属すべき価値)が減少した訳ではなく、「収益分配原資に充当可能な部分」が「ファンドの内部留保に充当される部分」に振り替えられたに過ぎず、基準価額には影響がありません。

以上の説明は税金を考慮しておりません。

計算期間初(=前期決算日直後)に比べて、個別構成銘柄の配当金等の蓄積が進展した計算期間末(=今期決算日)に近づく方が通常は収益分配原資が大きくなり、希薄化の影響を受け易くなります。

今後とも弊社投資信託をお引き立ていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具